

優秀賞

## 私が考える地域再成案

南富良野町立南富良野中学校3年

やました はな  
山下 花椰



私が住んでいるのは人口、2300人ほどの南富良野町です。南富良野町内では近年、日本で問題視されている過疎化が住んでいます。それを食い止めるために「地域再生」が必要です。

地域再生には「移住者」と「観光客」を重要視すると良いと思います。コロナ禍で移住ブームが到来し、地方への人の散らばりが見られます。これを上手く活用するのです。

まず移住したいと思われる観点の1つとして「教育」があると考えました。北海道の東川町は教育環境の充実で人口増加に成功した町です。2016年に道内人口増加率2位、25年間で1000人増加しました。その東川町では、教育に力を注ぎ、個を尊重する「フィンランド教育」を一部取り入れています。具体的には少人数で学習し、英語や数学の基礎を徹底的に定着させているようです。小学校では教室間の壁をなくすオープンスクールにし、子どもたちが解放感のある教室で授業を受けられる環境をつくっています。

南富良野では個人のレベルの差が大きいことが中学校に入ってから感じられます。私はこの問題はICTが解決してくれると考えています。勉強は人との差があることで好き嫌いが出てしまいます。ですが、ICTはペーパーレスの為だけではなく、時に個人の習熟度に合わせて学習することができます。さらに学習支援ソフトを活用したり、組み合わせたりすることで、生徒全体で活動することができます。こうすると、「ICTを上手く活用した教育」という一つの魅力ができあがるでしょう。この魅力に人が集まると思います。

観光業が盛んなわが町、南富良野町。最近では道の駅の複合施設やホテルができ、客足は伸びています。しかし観光業で大事なものは「長く愛されること」です。その結果の根底にあるのが「地域の店同士の連携」だと思います。ですが南富良野では、地域の店同士の連携が足りていないと感じています。例とするのは新しいホテルです。このホテルは「食

事がついていない」という特徴があります。ですが、朝食の時間や19:00からなど夕食を過ぎた時間帯にチェックインするお客様は旅の一つの楽しみである食事を十分に楽しめません。読んだ口コミでも宿泊されたお客様から指摘されていた部分でした。私は、この例でどのような連携をしたら良いか考えました。それは、かなやま湖ログホテルランチという施設の朝は朝食の時間から、夕食は20:00ラストオーダーのレストランまでバスで送迎する計画です。このように個の店の問題を地域全体で解決していくという連携が大事だと考えます。観光は個の力が大きければよいわけではなく、互いが足りない部分を補い合い、よりよいものを生み出すことによって成功への道が開かれると思いました。

私は莫大な資金と資源をかけて、新しく大きなものをつくらなくても良いような案を考えました。このような地域再生案は大人だけではなく子どもも持っていると思います。だから、子どもの声を聞くというのは重要な点であると考えています。そこで中学生から高校生を対象として話を聞く場を設けたり、実際に組織をつくったりして地域再生を進めていくのが、今最も新しく、面白みのあることだと思います。高校や大学進学、あるいは就職で、生まれ育ったまちを離れていく人は多いです。ですが、このまちが元気をなくしていくというのは悲しいことです。だから私は活気が失われつつあるこの町で地域が再生するためには子どもの新鮮な考えを取り入れながら小さい町の開かれた教育の姿と、店同士が連携した活発な町の観光の潤いが必要だと考えました。